

【静岡県柔道協会 創立 70 周年記念】平成 30 年度 第 60 回 静岡県柔道祭 実施要項

- 1 主 催 静岡県柔道協会
- 2 主 管 静岡県柔道祭実行委員会
- 3 会 場 静岡県武道館 [静岡県藤枝市前島 2-10-1 Tel. 054-636-2332]
- 4 日 時 平成 30 年 11 月 25 日(日)
 - ◆ 9 時 00 分～ 役員・審判会議
 - ◆ 10 時 00 分～ 開会式開始
 - ◆ 10 時 15 分～ 表彰式[記念表彰/表彰]
 - ◆ 11 時 00 分～ 世界「形」選手権優勝者、石田桃子選手、石田真理子選手による「柔の形」の祝賀演武
 - ◆ 11 時 30 分 開会式及びイベント終了後、昼食
 - ◆ 12 時 30 分～ 試合開始
- 5 後 援 静岡県教育委員会、(公財)静岡県体育協会、静岡県高等学校体育連盟、静岡県中学校体育連盟
- 6 協 賛 (公社)静岡県柔道整復師会、静岡県武道協議会
- 7 試合要領
 - ◆ 全種別共通事項
 - (1) 支部予選・県大会を通じ、同一所属から出場すること。
 - (2) 選手が 5 人制は 3 名以上、3 人制は 2 名以上に満たない場合は出場できない。
 - (3) 代表戦は任意とし、1 回で優劣を決定する。(高校の部は、県高体連柔道専門部の申合わせによる。)
 - (4) 選手の変更は、申込責任者の了承を得て、大会当日書面にて届け出ること。(書式自由)
 - (5) 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定(少年規定)を採用する。細目は審判・監督会議で申し合わせる。
 - (6) 参加資格
 - ① 全柔連競技者登録または、指導者登録を静岡県柔道協会から登録している者
 - ② 所属団体および個人において、傷害保険に加入している者
 - ※ 負傷等が生じた場合、応急処置は主催者が行い、以後の責任は一切負わない。
 - ③ 保護者の参加承諾を得ている者(一般を除く。)
 - ④ 各支部の予選を勝抜いた団体[一般: 4 チーム、高校男子・女子: 各 4 チーム、中学男女: 各 4 チーム、小学生: 4 チーム]
 - ※ 今回は記念大会のため、時間の制限があり、上記の参加チーム数に削減する。2019 年以降の参加チーム数は、「静岡県柔道祭実施検討部会」で再検討し改めて決定する。
 - ⑤ 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - ア 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急専門医の精査を受ける)。
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得る。
 - エ 上記に該当する選手がいた場合、指導者は静岡県柔道協会に書面により事故報告書を提出する。
 - (7) 表彰: 種別団体毎、1 位、2 位、3 位(2 チーム)を表彰する。各種別、優秀選手を 1 名表彰する。
 - (8) オーダー用紙は、本要項[8, その他の(4)]に記載の様式とする。
 - ◆ 種別毎の事項
 - (1) 試合時間 一般・高校・中学: 3 分、小学: 2 分
 - (2) 参加料 一般・高校男子・中学男子: 5,000 円、高校女子・中学女子・小学: 4,000 円(大会当日、受付にて徴収)
 - 一般の部
 - (1) 選手はその支部に居住する者。ただし、その支部内にある官庁、会社、道場等に所属し、柔道修行の中心がそこにある者は、支部居住者と同様に扱う。
 - (2) 1 団体 2 チーム以内とし、選手 5 名(段数制限無し) 補員 2 名、監督 1 名とする。試合は 5 名の点取りトーナメント法による。オーダーは段級順とし、回戦ごとの変更は認めないが、補員の起用は自由である。ただし、段級が異なり、すでに同段級の者がある場合にはその段級の最前に入れる。一度交代した者は再度出場できない。教員、大学生は一般の部に出場できる。
 - (3) 参加申込書に記載されていない選手は、当日の選手変更の承認後、2 名まで出場することができる。
 - 高校の部
 - (1) 選手はその支部内の高校に在学している 1・2 年生の者。転校生で転校後 6 ヶ月未満の者は出場できない。全日制と定時制を混合しない。
 - (2) 男子は 1 校 1 チームとし、選手 7 名、監督 1 名とする。試合は勝ち抜き法とし、各チーム 5 名で行う。リーグまたはトーナメント法による。オーダーの変更は毎回自由とする。
 - ※ 部員数が 2 名以下の場合には合同チームを認める。詳細は、高体連委員長に問い合わせる。
 - (3) 女子は 1 校 1 チームとし、選手 5 名、監督 1 名とする。試合は 3 名の点取り試合とし、リーグまたはトーナメント法による。体重区分は次のとおりとする。 先鋒: 52kg 以下、中堅: 63kg 以下、大将: 無差別
 - なお、体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場でき、補充する際の順番は問わない。計量にパスしない者は出場できない。参加申込み後のオーダー変更は認めない。
 - (4) 女子の計量は、県大会当日の 8:30 から 9:00 までに行う。

■ 中学の部

- (1) 選手はその支部内の中学校に在学している1・2年生の者。学校または道場等での出場できる。
- (2) 男子は1校1チームとし、選手5名、補員2名、監督1名とする。試合は5名の点取り試合とし、リーグまたはトーナメント法による。オーダーは大将を最重量とし、以下体重順とする。なお、一度交代した者は再度出場できない。
- (3) 女子は1校1チームとし、選手3名、補員2名、監督1名とする。試合は3名の点取り試合とし、リーグまたはトーナメント法による。オーダーは大将を最重量とし、以下体重順とする。なお、一度交代した者は再度出場できない。
- (4) 男子・女子の計量は実施しない。支部大会の体重順で実施する。ただし、県大会当日に選手変更で登録する者は、計量を行う。

■ 小学の部

- (1) 選手はその支部内の小学校に在学する4・5・6年生（男女の混成は可）。団体（道場等）1チームとし、選手5名、補員2名、監督1名とする。
- (2) 試合は点取りトーナメント法による。オーダーは学年を問わず大将を最重量とし、以下体重順とする。なお、一度交代した者は再度出場できない。
- (3) 各所属の監督・指導員・父兄は、施設内での子供の行動を十分に監督し、大会運営に支障が起きないように留意する。また、支障をきたす行動があった場合は、主催者より、所属長へ厳重注意および罰則（各種大会への出場制限等）を与えることがある。また、審判への誹謗中傷があった場合も、同様の罰則を与える。
- (4) 平成30年9月1日以降に他団体に移籍した者は出場できない。

8 その他

- (1) 駐車場の借り上げには制限があるため、駐車券は、主催者の指定する者のみに送付される。
- (2) マイクロバスで参加するチームは、11月11日までに事務局に許可願いを提出する。
- (3) 背中にゼッケンを縫い付ける。姓を上段、所属を下段とする。※ゼッケンが付いていない選手は原則として失格とする。
- (4) オーダー表は、下記のように各所属で作成し持参すること。
 - ① 一般・中学男子・小学は模造紙1/2（縦40cm横110cm）
 - ② 中学女子は模造紙1/2（ただし、次鋒・副将の位置を空ける。）
 - ③ 高校男子・高校女子はA4用紙を1/2短冊形式
 - ④ オーダー表を用意していないチームは原則として失格とする。

先	次	中	副	大	所属名		選手名	所属名
初	二	三	四	五	所		初	静
鈴	山	山	杉	小	属		小	岡
木	本	下	山	山	名		林	東

- ◎ 一般は段位（級）順
- ◎ 小学、中学は大将が最重量
- ◎ 高校男子は選手名7枚、女子は5枚、所属名1枚 **※名前等は太字で見やすく書く。**

【会場図】

